

明海大学・朝日大学共催 2022英語授業改革セミナー「本気で授業改革」

記号：A 校種：高校

困っていませんか？観点別評価 —明日から使える評価手法のabc—

朝日大学 経営学部・英語教育センター 亀谷 みゆき
 朝日大学 経営学部・英語教育センター 児玉 靖明

本日の流れ

1. 新学習指導要領
 - ・学習指導要領改訂のポイント等
2. 観点別評価の手法
 - ・観点別評価のポイント等
3. グループ・ワーク
 - ・具体的な観点別評価方法について考えてみましょう！
4. 観点別評価の具体例
 - ・参考例の提示&解説
5. おわりに

1 新学習指導要領

生きて働く 知識・技能 の習得	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる 実際のコミュニケーション において、 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能 を身に付けるようにする。
未知の状況にも 対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	コミュニケーションを行う 目的や場面、状況などに応じて 、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり 、これらを活用して 適切に表現したり伝え合ったり することができる力を養う。
学びを人生や社会に 生かそうとする 学びに向かう力・人間性の涵養	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを圆らうとする態度 を養う。

自分の思いや考えを伝え合う
 “言語活動”を通して育てる。

1 新学習指導要領

指導要領に示された目標
何ができるようになるか


目標を達成するための指導の在り方(授業)
どのように学ぶか:言語活動を通して

適切な学習評価

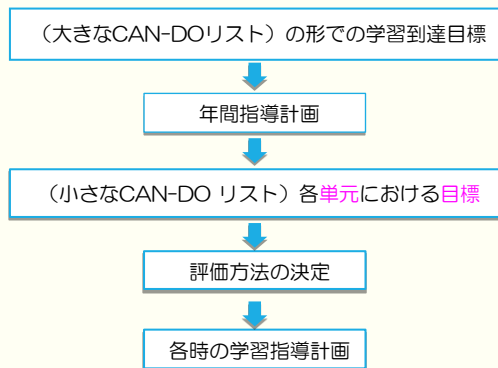
表裏一体

指導と評価の一体化

目標を十分理解し、**言語活動を通して授業を行う**ことが適切な学習評価につながる。
 逆に、適切な学習評価から指導の在り方を見直すこともできる。



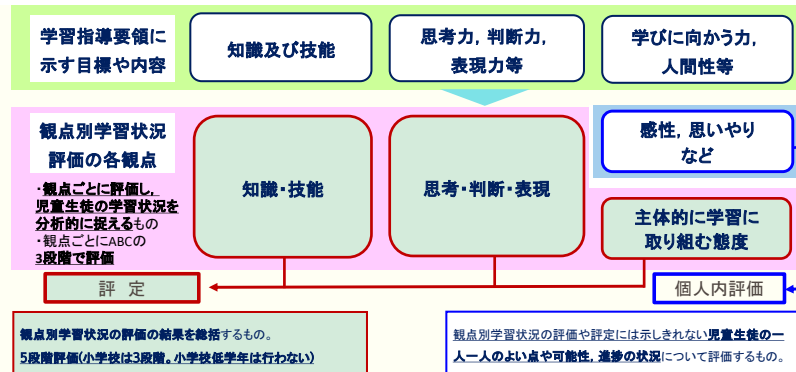
1 新学習指導要領



2 観点別評価の手法

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況の評価するもの（目標重視評価）
 ・したがって、目標重視評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なるもの。



2 観点別評価の手法

生きて働く知識・技能の習得

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる**実際のコミュニケーション**において、目的や場面、状況などに応じて適切に**活用できる技能**を身に付けるようにする。

ポイント

- ①実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度に理解しているかどうかを見取る（知識）
 →文脈も使用場面も存在しない問題では「知識」は評価できない
- ②実際のコミュニケーションの場面で、活用できるかどうかを見取る（技能）
 →実際に使えるかどうかを見取る
- ③“理解している”（知識）＝“活用できる”（技能）
 →知識・技能は一体的に見取ることができる



p.35「知識・技能」のポイント

2 観点別評価の手法

未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

コミュニケーションを行う**目的や場面、状況などに応じて**、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの**概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり**、これらを活用して適切に**表現したり伝え合ったりすることができる力**を養う。

（思考・判断・表現）は“思考”が必ず伴う
コミュニケーションを行う目的や場面、状況を必ず設定する。
 →この能力の育成のためには
外国語を実際に使用することが不可欠



p.35「思考力・判断力・表現力」のポイント

2 観点別評価の手法

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・人
間性の涵養

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、
聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、
主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうと
する態度を養う。

(主体的に学習に取り組む態度)は基本的には
(思考・判断・表現)と一体的に評価することができる

コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて
コミュニケーションを図る(思・判・表)ためには

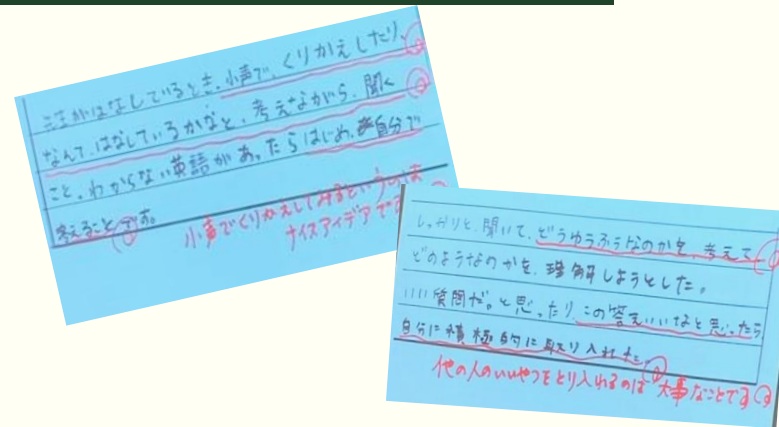
「外国語の背景にある文化に対する理解を深め」、「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮」することが必要(主体的に学習に取り組む態度)

「主体的に」：学校教育外の場面においても、**生涯にわたって外国語の習得に継続して取り組もうとするといった態度**を養うことを目標としている。(学習指導要領解説p.17)



p.36「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

2 観点別評価の手法



2 観点別評価の手法

①3観点5領域を評価

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能	理解の 領域		表現の 領域				
思考・判断・表現							
主体的に学習に 取り組む態度							

評価情報の収集【記録に残す評価】は基本的には**単元末・学期末**に行う。

②学習指導要領の目標に沿った評価計画を立てる

評価時期 と内容	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能							
思考・判断・ 表現							
主体的に学習に 取り組む態度							

2 観点別評価の手法

③評価情報を記録する

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと			
	定期テスト 中間・期末	Unit 5 単元テスト	定期テスト 中間・期末	パフォーマンス テスト(UA)	Unit 6	Unit 5	Unit 6	定期テスト中 間・期末
知識・技能								
思考・判断・表現								
主体的に学習に 取り組む態度								

④評価を総括する

(例)

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に学習に 取り組む態度							

自己評価(振り返りの記述内容)を参考

2 観点別評価の手法

国際科1年生 英語コミュニケーションⅠ < 3単位 > (教科書: English Communication I Landmark I) 単元別・観点別評価方法一覧

学期	L	タイトル	ジャンル	内容	文法等	観点	L	R	コミュニケーション	読解	W	評価方法	パフォーマンス評価	備考
1	1	Enjoy Your Journey!【自慢・体験】	自慢・体験	新生活に向けた目標設定	・不定詞 ・動名詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	各単元の教科書の目標について発表し、質疑応答も行う	ペアorグループで
1	2	Curry Travels around the World【食文化・歴史】	食文化・歴史	はるかなるカレーの旅	・分詞の後置修飾 ・現在完了	知	○	○	○	○	○	定期考査	地図の地理について調べ、年表によって発表する	ペアorグループで
1	3	School Uniforms【学校・比較文化】	学校・比較文化	世界の制服事情	・受動態	知	○	○	○	○	○	定期考査	制服の是非についてミニディベートを行う	ペアorグループで
2	4	Eco-Tour on Yakushima【自然・観光】	自然・観光	鹿児島島のエコツアーを体験	・SVOCの受動態 ・関係副詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	鹿児島エコツアーに関連する資料の、エコツアーガイドをよみとり、ツアーパンフレットを作る	個人orペアで
2	5	Bailey the Facility Dog【動物・医療】	動物・医療	病院で働くファンシードッグ、ベイリーについて	・過去形 ・SVOCの受動態 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係詞節の用法 ・関係代名詞の用法	知	○	○	○	○	○	定期考査	ファンシードッグの是非についてミニディベートを音言	ペアorグループで
2	6	Communication without Words【異文化・コミュニケーション】	異文化・コミュニケーション	世界の国々の言葉を用いないコミュニケーション	・関係代名詞 ・関係副詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	何語を話さない、手話や絵を使ったコミュニケーションのやりかたを学ぶ	個人orペアで
3	7	Dear World/Ban's War【SNS・平和】	SNS・平和	Banが世界に向けて発信したメッセージとは	・関係代名詞の非制限用法 ・関係副詞の非制限用法	知	○	○	○	○	○	定期考査	海外のSNSで発信されたメッセージを読み取り、フィードバックを行う	グループで
3	8	The Best Education to Everyone, Everywhere【社会貢献・教育】	社会貢献・教育	社会起業家の思いと挑戦	・関係代名詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	社会貢献の重要性について話し合い、社会貢献のアイデアを提案する	個人orグループで
3	9	Space Elevator【宇宙・科学】	宇宙・科学	エレベーターで宇宙へ！?	・仮定法過去 ・倍数表現	知	○	○	○	○	○	定期考査	宇宙エレベーターの建設に反対する人々の意見を聞き、建設の是非について話し合う	ペアorグループで
10		Friendship over Time【歴史・友情】	歴史・友情	トルコ軍艦エルトゥール号の悲劇	・仮定法過去完了	知	○	○	○	○	○	定期考査	トルコ軍艦エルトゥール号の悲劇について話し合う	ペアorグループで

2 観点別評価の手法

国際科1年生 英語コミュニケーションⅠ < 3単位 > (教科書: English Communication I Landmark I) 単元別・観点別評価方法一覧

学期	L	タイトル	ジャンル	内容	文法等	観点	L	R	コミュニケーション	読解	W	評価方法	パフォーマンス評価	備考
1	1	Enjoy Your Journey!【自慢・体験】	自慢・体験	新生活に向けた目標設定	・不定詞 ・動名詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	各単元の教科書の目標について発表し、質疑応答も行う	ペアorグループで
1	2	Curry Travels around the World【食文化・歴史】	食文化・歴史	はるかなるカレーの旅	・分詞の後置修飾 ・現在完了	知	○	○	○	○	○	定期考査	地図の地理について調べ、年表によって発表する	ペアorグループで
1	3	School Uniforms【学校・比較文化】	学校・比較文化	世界の制服事情	・受動態	知	○	○	○	○	○	定期考査	制服の是非についてミニディベートを行う	ペアorグループで
2	4	Eco-Tour on Yakushima【自然・観光】	自然・観光	鹿児島島のエコツアーを体験	・SVOCの受動態 ・関係副詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	鹿児島エコツアーに関連する資料の、エコツアーガイドをよみとり、ツアーパンフレットを作る	個人orペアで
2	5	Bailey the Facility Dog【動物・医療】	動物・医療	病院で働くファンシードッグ、ベイリーについて	・過去形 ・SVOCの受動態 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係詞節の用法 ・関係代名詞の用法	知	○	○	○	○	○	定期考査	ファンシードッグの是非についてミニディベートを音言	ペアorグループで
2	6	Communication without Words【異文化・コミュニケーション】	異文化・コミュニケーション	世界の国々の言葉を用いないコミュニケーション	・関係代名詞 ・関係副詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	何語を話さない、手話や絵を使ったコミュニケーションのやりかたを学ぶ	個人orペアで
3	7	Dear World/Ban's War【SNS・平和】	SNS・平和	Banが世界に向けて発信したメッセージとは	・関係代名詞の非制限用法 ・関係副詞の非制限用法	知	○	○	○	○	○	定期考査	海外のSNSで発信されたメッセージを読み取り、フィードバックを行う	グループで
3	8	The Best Education to Everyone, Everywhere【社会貢献・教育】	社会貢献・教育	社会起業家の思いと挑戦	・関係代名詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞 ・関係副詞・O・関係代名詞	知	○	○	○	○	○	定期考査	社会貢献の重要性について話し合い、社会貢献のアイデアを提案する	個人orグループで
3	9	Space Elevator【宇宙・科学】	宇宙・科学	エレベーターで宇宙へ！?	・仮定法過去 ・倍数表現	知	○	○	○	○	○	定期考査	宇宙エレベーターの建設に反対する人々の意見を聞き、建設の是非について話し合う	ペアorグループで
10		Friendship over Time【歴史・友情】	歴史・友情	トルコ軍艦エルトゥール号の悲劇	・仮定法過去完了	知	○	○	○	○	○	定期考査	トルコ軍艦エルトゥール号の悲劇について話し合う	ペアorグループで

【評価する四技能五領域】
これはそれぞれの単元において、どの技能・領域を評価するかを整理
(各単元において、四技能五領域全てを評価するとは限らない)

2 観点別評価の手法

学習評価が変わる ⇒ テストが変わる

理解の領域	聞くこと	読むこと	表現の領域	話すこと (スピーチ)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	聞いて、読んで(内容)がわかる		知識・技能	英語使用の適切さ		
思考・判断・表現	聞いて、読んで(概要)(要点)(必要な情報)がわかる		思考・判断・表現	内容面の適切さ		

今までのテスト

- 学期 定期テスト
- 1 リスニングテスト(外国語理解の能力)
- ・
- ・
- 3 長文問題(外国語理解の能力)
- 4 文法問題(言語や文化についての知識・理解)
- ・
- ・
- 7 表現問題(外国語表現の能力)



これからのテスト

- 学期 定期テスト
- 1 聞くこと(知識・技能)
- 2 聞くこと(思考・判断・表現)
- 3 読むこと(知識・技能)
- 4 読むこと(思考・判断・表現)
- 6 話す/書くこと(知識・技能)
- 7 話す/書くこと(知識・技能)
- ・
- ・
- 10 話す/書くこと(知識・技能、思考・判断・表現)

3 グループ・ワーク

MY WAY English Communication I (三省堂) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

【読むこと】における単元の目標と評価規準(例)

【単元の目標】

好きな本についての紹介文を読んで、書き手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握することができる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	・文章を読み取るために必要となる語彙や表現、完了形の意味や働きを理解している。 ・好きな本について書かれた紹介文を読み取る技能を身に付けている。	興味関心のある本と出会うために、好きな本について書かれた紹介文を読んで、書き手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握している。	興味関心のある本と出会うために、好きな本について書かれた紹介文を読んで、書き手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握しようとしている。

3 グループ・ワーク (のために)



第3編 事例2 (英語コミュニケーションⅡ)
「聞くこと」「読むこと」における「思考・判断・表現」の評価

4 ペーパーテストの作成方法

(1) 話題の決定とスクリプトや文章の作成

教科書の内容をどれだけ理解したかではなく、学習したことを実際に活用する力が身に付いているかを評価するため、**基本的には生徒が初めて聞いたり読んだりする英語を用いて評価する。**

その作成に当たっては、例えば、次のような方法が考えられる。

- ・教科書で扱っているスクリプトや文章の構成を基に作成する。
- ・教科書の対話文をモノローグに、あるいは、教科書のモノローグを対話文に書き換える。
- ・学習した内容と関連のある話題について、同じテキストタイプで書く。その際、可能な範囲で、授業で扱った言語材料を使用する。
- ・学習した内容と関連のある話題について書かれた他の英文から引用する。

4 観点別評価の具体例「読むこと」

Today, I'd like to introduce one of my favorite books, Winnie-the-Pooh: ① I have read this book many times since I was a child.

② The book was written by A. A. Milne, a British author, in 1926. It is about Winnie-the-Pooh and his friends. Pooh spends his days in a forest.

I. Risa is in the first year of high school. She is introducing her favorite book in class so that many of her friends will feel like reading it.

⑤ Recently I read Winnie-the-Pooh again. ⑥ Then I found some new messages in the book.

Here is one example. Pooh and Piglet find footprints in the snow and follow them around a tree. They wonder, "Whose footsteps are these?" They have been walking around the tree. After a while, they realize that the footsteps are their own (い). Pooh gets disappointed with himself and says to Christopher nearby, "⑦ I have been foolish, and I am a bear of no brain at all." Christopher responds, "You're the best bear in all the world." Christopher probably means, "Don't worry. I like you as you are." The characters in this book all respect each other and accept others as they are.

⑥ I also read Now We Are Six the other day. The book was published in 1927 and it has thirty-five easy poems for children to understand. Milne wrote this book for his six-year-old son at that time, Christopher. I really like the last poem in this book. Let me read it to you.

The End
When I was One, I had just begun.
When I was Two, I was nearly new.
When I was Three, I was hardly Me.
When I was Four, I was not much more.
When I was Five, I was just alive.
But now I am six, I'm as clever as clever.
So I think I'll be six now for ever and ever.

4 観点別評価の具体例「読むこと」

This is such a cute poem, isn't it? My mother used to read this poem to me when I was very young. To be honest, I didn't understand it very well. I just liked the sounds and rhythms at that time. But now, I understand this poem and I can relate to this.

In this poem, "I" am looking back on when "I" was one, two, three, four, and five years old. And this person thinks that "I" in the past was different from what "I" am. Now "I" am six years old. "I" grew and I am cleverer than before. The cute part is that this person is fully satisfied with him being six years old and he thinks it is possible for him to be six years old for ever as his own choice.

I am fifteen years old, and I now feel the same way. It doesn't mean that I believe I can be fifteen forever. What I want to say is that I have grown a lot as a human being for the past fifteen years and I think I am the smartest so far in my life. Of course, we can't stop aging. However, I am smart enough to know that I can be cleverer and smarter as I get older through lots of experiences. I am kind of looking forward to knowing how much more I can change in the future. I think this poem offers readers an opportunity to realize that getting old is not always a bad thing.

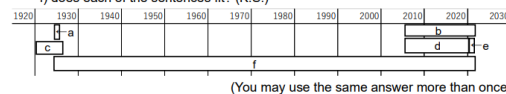
⑦ I had not noticed these messages until I read the books again. Both the books have meaningful messages for us, high school students.

If you read again some of the books you used to read when you were very young, you may find some messages from them that you didn't notice at that time. Thank you for listening.

4 観点別評価の具体例「読むこと」

知識・技能

1. Look at the underlined sentences ①②③④⑤⑥⑦. Where in the time range below (a ~f) does each of the sentences fit? (K.S.)



過去形・完了形の知識

2. How old was Milne's son, Christopher when Winnie-the-Pooh was published? Fill in the blank. (K.S.)

Christopher was () years old when Winnie-the-Pooh was published.

過去形の知識

3. If you put a word in (い), which of the followings will be correct? (K.S.)

- A) example
- B) footsteps
- C) snow
- D) tree

省略されている語の補充
(内容的確な理解)

4 観点別評価の具体例「読むこと」

朝日大学

思考・判断・表現

4. Look at the underlined sentence (あ). What is one of the messages that Risa found from the book, Winnie-the-Pooh, when she read it again? Fill in the blanks to answer the question using words from the passage. (T.J.E.)

It is important to () and () differences of each other.

要点把握

5. Look at the underlined part (う). Why did Pooh think this way? (T.J.E.)

- A) Because Pooh thought he could find someone else.
- B) Because Pooh got lost in the forest.
- C) Because Pooh disappointed Christopher.
- D) Because Pooh was too tired of walking in the woods.

推論

6. Why does Risa think the poem "The End" is cute? (T.J.E.)

- A) The poem was written for small children by A. A. Milne.
- B) The character thinks he can be the same age forever.
- C) The sounds and rhythms are similar to a children's song.
- D) The kid in the poem is looking back on the past.

要点把握

7. In which one of the followings can Risa relate to the poem "The End"? (T.J.E.)

- A) She believes that she won't be smarter than she is now just like the character in the poem does.
- B) She thinks that she has grown over the years just like the character in the poem does.
- C) She wants to stay at her current age forever just like the character in the poem does.
- D) She hopes to experience a lot of things as she gets old just like the character in the poem does.

要点把握

21

4 観点別評価の具体例「読むこと」

朝日大学

Class () No. () Name ()

1	1	2	3	4	5
	①		③	④	⑤
	⑥	⑦			
2	Christopher was () years old when Winnie-the-Pooh was published.				
3	(い)				
4	(あ) It is important to () and () differences of each other.				
5	6	7			
	(う)				

知識・技能

思考・判断・表現

K.S.	T.J.E.
/9	/8

22

4 観点別評価の具体例「聞くこと」

MY WAY English Communication I (三省堂) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

【聞くこと】における単元の目標と評価規準(例)

【単元の目標】

本紹介やクラスメートの好きな本についての発表や対話を聞いて、話し手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握することができる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
EM11	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を聞き取るために必要となる語彙や表現、完了形の意味や働きを理解している。 ・好きな本についての紹介文を聞き取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心のある本と出会うために、本紹介やクラスメートの好きな本についての発表や対話を聞いて、話し手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心のある本と出会うために、本紹介やクラスメートの好きな本についての発表や対話を聞いて、話し手の意図等を捉えることを通じ、全体の要点や概要、詳細を把握しようとしている。

4 観点別評価の具体例「聞くこと」

朝日大学

知識・技能

Q1 Fill in the table with the words in the boxes. For (①)-(④), use the words in **BOX A**. For (⑤)-(⑧), use the words in **BOX B**. You may use the same word more than once. (K.S.)

Eric Carle	
Life	<ul style="list-style-type: none"> - The country where he was born in 1929: (①) - The country he moved to when he was six: (②) - The country where he went to school: (③) - The country where he started working as a graphic designer: (④) - The number of the books he made: more than 40. - The year he died: 2021.
Works	<p>"Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?"</p> <ul style="list-style-type: none"> - The story was written by (⑤). - (⑥) added the illustrations to the book. <p>"The Very Hungry Caterpillar"</p> <ul style="list-style-type: none"> - The story was written by (⑦). - (⑧) added the illustrations to the book.

情報の整理
(過去の出来事)

BOX A
1. USA 2. Japan 3. Soviet Union 4. Germany

BOX B
1. Bill Martin 2. Eric Carle

24

4 観点別評価の具体例 「聞くこと」

思考・判断・表現

Q2 What are Lisa and Masaki talking about? (T.J.E.)

- ① About their favorite author
- ② About their favorite message
- ③ About their favorite book
- ④ About their favorite club

概要の把握

Q3 From this dialogue, you learned that . (T.J.E.)

- ① both Lisa and Masaki read many books although they are busy.
- ② Lisa seems to know about Eric Carle better than Masaki.
- ③ It is embarrassing for Lisa and Masaki to like a children's book.
- ④ Lisa and Masaki got a different message from the same book.

要点の把握

25

4 観点別評価の具体例 「書くこと」

MY WAY English Communication I (三省堂) Lesson 4 Messages from *Winnie-the-Pooh*

【書くこと】における単元の目標と評価規準(例)

【単元の目標】

好きな本について聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や主張を明確な理由とともに書いて伝えることができる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	・自分の意見や主張を明確な理由とともに伝えるために必要となる語彙や表現等を理解している。 ・好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。	クラスメート等に「この本を読んだみたい」と思ってもらえるように、好きな本について聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や主張を明確な理由とともに書いて伝えている。	クラスメート等に「この本を読みたい」と思ってもらえるように、好きな本について聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や主張を明確な理由とともに書いて伝えようとしている。

4 観点別評価の具体例 「書くこと」

4 テストまでの指導について

目標設定の共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容(好きな本について紹介文を書く、ただし「授業での活動」で用いた物とは異なる本について書く)と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動(2時間程度の授業を想定)

- ・教科書の内容が、Winnie-the-Pooh という本の紹介文であるので、授業内では自分の好きな本について紹介文を書く(これは後に授業内で行う英語版ビブリオバトルのスピーチ原稿に利用する)。
- ・他の生徒と話したり、アイデアを書いたりして書く前に自分の考えを整理する。

[指導する表現例]

- 書き出しの表現例
 I would like to introduce ... I would like to write about ...
 Let me introduce ...
- 本に関する情報等を伝える表現例
 It was written by... It was published in ... The book is about ...
 The book teaches us ... The book shows ...
- 自分の考えや意見、理由などを書くための表現例
 I think that... We should ... I assume that ... In my opinion, ...
 The reason why I like this book is because ...
- 人に何かを薦める際に役立つ表現例
 I hope you will ... I would like you to ... Why don't you ... I recommend you to ...

4 観点別評価の具体例 「書くこと」

(5) 採点の基準

次の採点の基準によって評価を行う。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)とする。

- 「思考・判断・表現」についての二つの条件

条件1: 他人に紹介したい本について書いている。

条件2: その本を良いと考える理由や、他人に薦める理由を書いている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

28

4 観点別評価の具体例「書くこと」

【資料1】問題と解答用紙

You are going to write a book recommendation about your favorite book so that your classmates will feel like reading it. Make sure that you will write about a different book from the one you used before in class.

【詳細について】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に慣れ、理解しやすい英文を用いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えようとしている。
b	語りが一語あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

条件1：他の人に紹介したい本について、そのあらずじや作意などについて書いている。

条件2：その本を良いと考える理由や、他の人に薦める理由を書いている。

4 観点別評価の具体例「話すこと(発表)」

MY WAY English Communication I (三省堂) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

【話すこと(発表)】における単元の目標と評価標準(例)

【単元の目標】

好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝えることができる。

【単元の評価標準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(発表)	・自分の意見や主張を明確な理由とともに伝えるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	クラスメート等に「この本を読んだ」と思ってもらえるように、好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝えている。	クラスメート等に「この本を読みたい」と思ってもらえるように、好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝えようとしている。

4 観点別評価の具体例「話すこと(発表)」

4 テストまでの指導について

目標設定の共有

- ・単元の目標と評価標準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動(2時間程度の授業を想定)

- ・「書くこと」にフォーカスをした授業で、好きな本の紹介文を書いた。その原稿を利用し英語版ピブリオバトルを行う。
- ・1回目の授業で、「書くこと」にフォーカスをした授業で仕上げた原稿を読み直し、スピーチのスク립トとして修正する時間を与える。
- ・ペアでどのように修正するとスピーチとして良いものになるのかを教科書を参考にしながら、また自分たちの意見を出し合いながら修正する。
- ・ハンドアウト【資料2】を配付し、ピブリオバトルのやり方を説明し、ペアでリハーサルを行う。
- ・ペア同士で内容を発表し、互いにその内容について英語で質問をする。なるべくたくさんの質問を考えてその答え方もペアで考えておく。

4 観点別評価の具体例「話すこと(発表)」

【スピーチで指導する表現例】

- 話し出しの表現例
Hello! Today, I'd like to introduce (talk about) ... Let me introduce (tell you about) ...
- 本に関する情報等を伝える表現例
It was written by... It was published in ... The book is about ...
The book teaches us ... The book shows ...
- 自分の考えや意見などを伝えるための表現例
I think that... We should ... I assume that ... In my opinion, ...
- 人に何かを薦める際に役立つ表現例
I hope you will ... I'd like you to ... Why don't you ... I recommend you to...
- スピーチの締めくくり役立つ表現例
Thank you for listening.
I hope you enjoyed my speech. Thank you!

【質疑で指導する表現例】

- How did you feel when you finished reading the book?
- How long did it take you to finish reading the book?
- What made you read the book?
- How did you encounter this book?
- What is your favorite scene (part) in this book?
- What kind of message do you think the author wanted to give to the readers? など

4 観点別評価の具体例 「話すこと(発表)」

朝日大学

【資料2】ハンドアウト

Let's Play BIBLIOBATTLE!!!

What is Bibliobattle?

Bibliobattle is a style of social book reviewing. In Bibliobattle, participants introduce their favorite books and select a "champ book" at the end.

Rules

- ① Make a group of five.
- ② Each member brings his/her favorite book and introduces the book to other members in the group for 3 minutes one by one.
- ③ You can talk about why you like the book, when you found the book, how you felt when you read the book and so on.
- ④ After each presentation, all of the members discuss the book for two minutes. The other members can ask the presenter some questions about the book.
- ⑤ After all of the presentations are finished, the best book is selected by a vote of the members. The book is called "Champion Book" or "the Best Book." The criterion is "Which book do you want to read the most?"

4 観点別評価の具体例 「話すこと(発表)」

朝日大学

(5)方法

<事前の準備>

- ・時間割変更をし、2時間連続授業となるよう調整する。
- ・生徒とテストの内容や採点の基準を確認し共有する。
- ・授業中に行った英語版ピリオバトル形式で、好きな本について3分間で「この本を読みたい」と聞いている人が思うようなスピーチをする。(その後90秒の質疑応答)
- ・スピーチの際は、簡単なメモ程度であれば参照にしても良い。
- ・授業中のピリオバトルで使用した本とは異なる本を使用すること。
- ・他教員の協力を得て複数会場を設けてそれぞれの会場で採点をするので、採点基準や採点方法について教員間で共有しておく。

<テスト当日の流れ>

- ・籤で順番を決めて着席させる。(1~20番×2組(AとB))
- ・Aの生徒がパフォーマンステストをする部屋とBの生徒が行う部屋を伝える。
- ・待ち時間がたくさんあるので、待っている間は審査等に向けた勉強をさせる。
- ・1番の生徒がパフォーマンステストをしている間、次の番号の生徒は廊下の椅子で待機する。テストが終了した生徒はすぐに待機教室に戻り、次の生徒に廊下で待つことを告げて自習に入る。

4 観点別評価の具体例 「話すこと(発表)」

朝日大学

(6)採点の基準

次の採点の基準によって評価を行う。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)とする。

o「思考・判断・表現」についての二つの条件

条件1: 他人に紹介したい本について述べている。

条件2: その本を良いと考える理由や、他人に薦める理由を述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく話して伝えようとしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 観点別評価の具体例 「話すこと(やり取り)」

MY WAY English Communication I (三省堂) Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh

【話すこと(やり取り)】における単元の目標と評価規準(例)

【単元の目標】

好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝えることができる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと(やり取り)	・自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝え合うために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。	自分のことを相手に知ってもらえるように、相手の質問に応じながら、好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝え合っている。	自分のことを相手に知ってもらえるように、相手の質問に応じながら、好きな本について、自分の意見や主張を明確な理由とともに話して伝え合おうとしている。

4 観点別評価の具体例 「話すこと(やり取り)」

[質疑応答で指導する表現例]

How did you feel when you finished reading the book?

- I felt really moved (sad, happy, exhausted ...)

How long did it take you to finish reading the book?

- It took me about ... days (hours, weeks etc) to read it.

What made you read the book?

- The librarian recommended me to read this.

How did you encounter this book?

- I found this book in the library. I thought the picture of the front cover was really cute, so I took it from the bookshelf. That's how I encountered this book.

What is your favorite scene (part) in this book?

- My favorite scene is the ending. Ken and Lisa had no other choice but to break up although they were still in love. The scene was so heartbreaking that I couldn't read it without tears.

What kind of message do you think the author wanted to give to the readers?

- I think the message that the author wanted to give us is that it is important not to give up. など

4 観点別評価の具体例 「話すこと(やり取り)」

(6)採点の基準

次の採点の基準によって評価を行う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合おうとしている。
b	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

38

4 観点別評価の具体例 参考資料



国立教育政策研究所



https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf

5 おわりに

1. 目指せ！「目標・指導・評価の一体化」

～授業づくりって楽しいですね！～

2. 目指せ！「チーム英語科」

～評価は一人ではできませんよね！～

3. まずはやってみる！

～“The expert in anything was once a beginner.”～



40

5 おわりに 朝日大学

高等学校英語弁論大会



The 38th English Speech Contest

2022 11/26 土 高校生の皆さんへ

朝日大学の英語基本種目(英語作文・スピーキング)と人材育成に資することを目的として、英語教育研究センター、英語教育実践センター、英語教育研究センター、英語教育実践センター、英語教育研究センター、英語教育実践センターが協賛する本大会を開催いたします。

本大会は、英語教育研究センター、英語教育実践センター、英語教育研究センター、英語教育実践センターが協賛する本大会を開催いたします。

本大会は、英語教育研究センター、英語教育実践センター、英語教育研究センター、英語教育実践センターが協賛する本大会を開催いたします。

応募資格
テーマ 日本国内の高等学校等に在籍している生徒 (ただし、英語を第一言語としない国)

自由 (共通テーマは設定しません。)

審査基準 Content (50%)・Delivery (30%)・Language (20%) 合計100% ※発表時間が10分以内

応募期間 2022年9月1日(木)～9月26日(月) 必着

提出方法 Eメールにて下記宛てにお送りください。お申し込み後、朝日大学英語教育実践センターから返信メールが来ます。

連絡先 朝日大学英語教育実践センター 英語教育実践センター
 Eメール: gkyu2@alice.asahi-u.ac.jp (週土、日、15:00以上、土曜日の朝日大学英語教育実践センターは休室です。)

賞状 大会賞状(スピーチ第一等賞～最優秀賞、第二等賞を含む)を授与します。

大会発表者 大会賞状(スピーチ第一等賞～最優秀賞、第二等賞を含む)を授与します。

審査委員長 (兼任事務局)	評議 (朝日大学職員)
審査委員 (朝日大学職員)	審査員 (朝日大学教員)
大会実行委員長 (朝日大学職員)	大会実行委員 (朝日大学教員)
大会実行委員 (朝日大学職員)	大会実行委員 (朝日大学教員)

お問い合わせ先
 TEL: 0562-3236-1077 FAX: 0562-3236-6253

Thank you for joining us!

朝日大学 亀谷 みゆき mkamegai@alice.asahi-u.ac.jp
児玉 靖明 ykodama@alice.asahi-u.ac.jp